

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	○学習規律を継続して指導し、授業のUD化を図ることで学習習慣の定着を図ってきたことが一定の成果を挙げた。読書量も一人平均90冊を達成できた。 ○いじめ・いのちを考える日の取り組みなどで、学校・児童・保護者が一体となって「いじめを許さない」機運を高めてきた。いじめ事案にも組織で素早く対応したためどの事案も早期解決できた。これからもいじめ0を目指して指導を継続していく。 ○地域連携活動である体験活動の推進に関して、ほとんどの児童・保護者が「麓小のよいところ」と捉えている。これからも、「開かれた学校推進委員会」と連携を継続し、地域との連携を深めていく。 ○時間外の校内勤務時間を月に45時間以内をめざして取り組んできた。年間平均すると半数程度の教員が守れている。
------------------	--

2 学校教育目標	「ふるさとを誇りに思い、やさしく・かしこく・たくましく生きる麓っ子の育成」
----------	---------------------------------------

3 本年度の重点目標	◎子どもの「学び」を鍛える(学力向上) ◎国語科授業による活学力の向上 ◎子どもの「心」を鍛える ◎鳥栖西スタイル「三訓」「あいさつ」「時間」「清掃」を大切にしたい指導を行う。 ○子どもの「体」を鍛える ○教師力向上・地域連携
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		5 最終評価			主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価			
				進捗度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果	評価	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る						指導教諭 岡本【学び育てチーム】
	○学習内容の定着と活学力向上のための授業実践	○友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うと回答した児童(生徒)80%以上	・年間1回、全員が公開授業及び授業研究会を実施する ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol22」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する						岡本 指導教諭【学び育てチーム】
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・人権学習、人権集会を実施し、全校児童の人権意識の向上を図り、アンケートを実施する ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施						牧 宮原【心育てチーム】
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う						吉松 主幹教諭 養護教諭【心育てチーム】
	◎ふるさとの自然や地域の人とふれあう体験活動の充実	○体験活動や地域の方々とのふれあいながら学習したことを楽しむことができた児童90%以上	・麓ふれあい祭及びふれあい祭へ向けての活動を計画的に取り組む ・地域の方々との共に行う農業体験活動の年間計画の作成と見直し						指導教諭 学年主任【心育てチーム】
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒70%以上	・学級で全員一緒に遊ぶ日を設定したり(週1回程度)昼休みや業間休みには、外遊びの声かけをしたりする						阿嘉 養護教諭 鈴木 古川 高林【体づくりチーム】
	②「望ましい生活習慣の形成」	②給食後の歯みがき実施率を100%、目標就寝時刻を守る児童を70%以上、朝食の喫食率100%	・「ふもとっこがんばり表」を活用し、継続的な指導を行う ・校外内の危険箇所を知らせ、交通規則の順守と児童の安全に関する意識を高める						
	③「安全に関する資質・能力の育成」	③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・月間時間外校内業務の45時間以内を目標にする						教頭 主幹教諭
	○負担感、多忙感の解消	○報告、連絡、相談を密にし、課題に対してチームで取り組み、負担感を軽減する	・児童や保護者との話し合いは複数対応を原則とし、協議しながら、統一した方針で対応する						教頭 主幹教諭 指導教諭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		5 最終評価			主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価			
				進捗度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果	評価	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開を各学年1クラス以上行う ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率90%以上	・授業参観や学年・学級通信等を通して、教科「日本語」の実践を保護者や地域に広める						主幹教諭 指導教諭 研究主任・副主任
○特別支援教育の充実	○個に応じた支援体制の確立のための教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有						城戸 久保山【特別支援学級担当】

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------